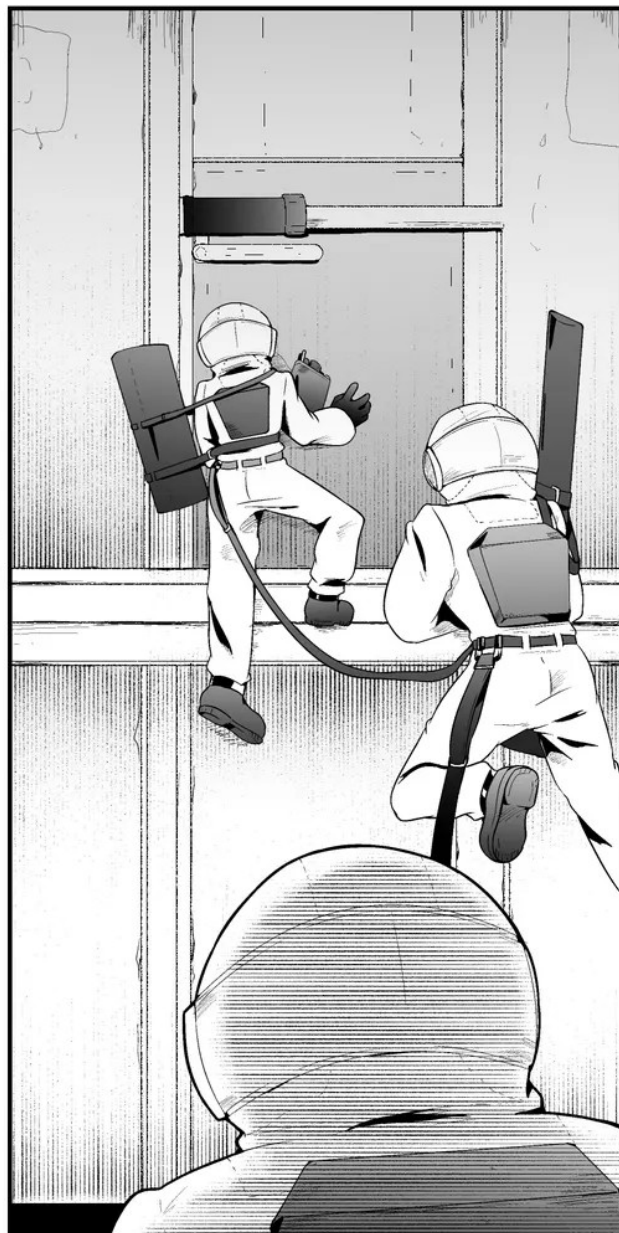
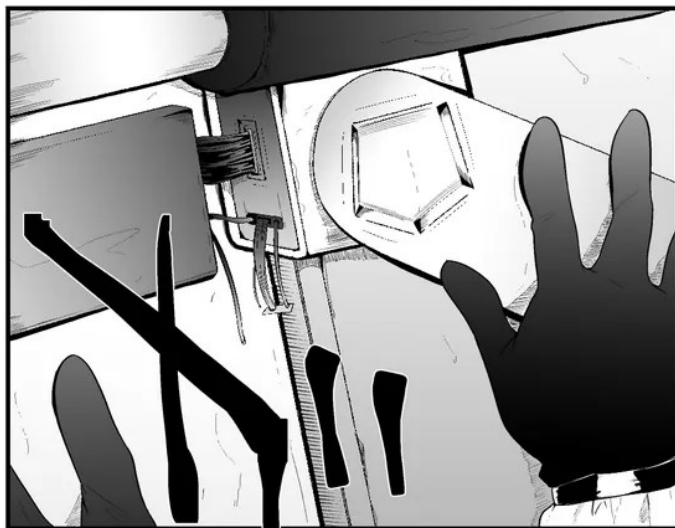




いかにして彼女達は
孕み袋
となったのか？

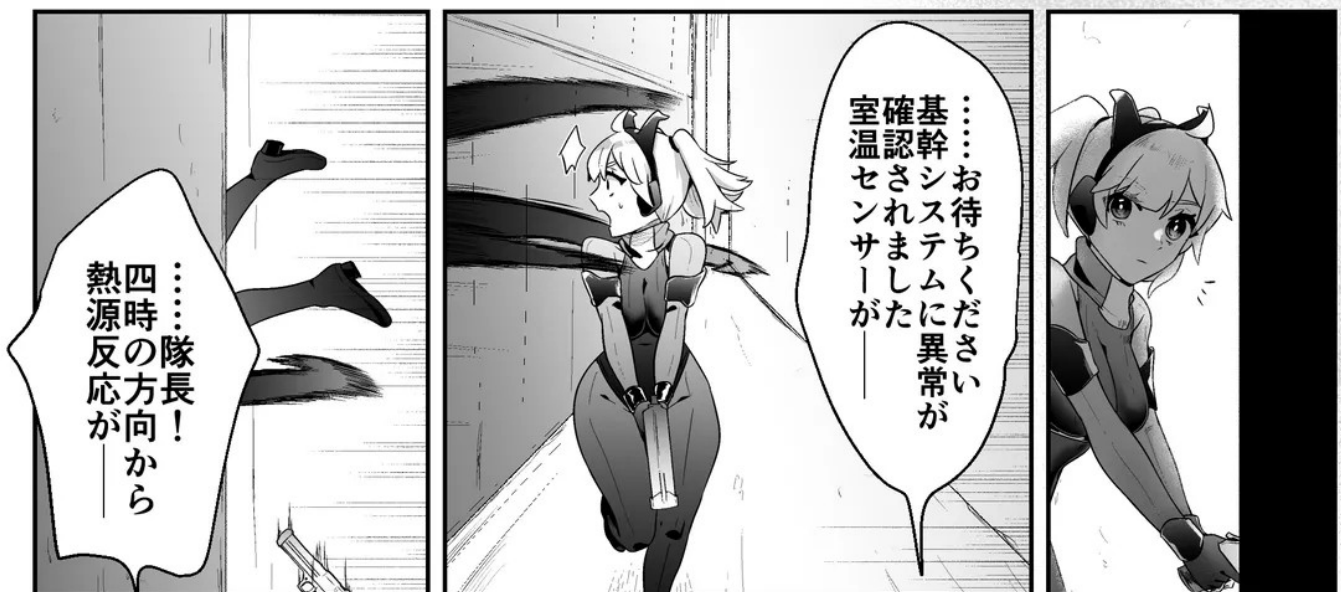
——第二宙域184区
アドニア隊
現場に突入

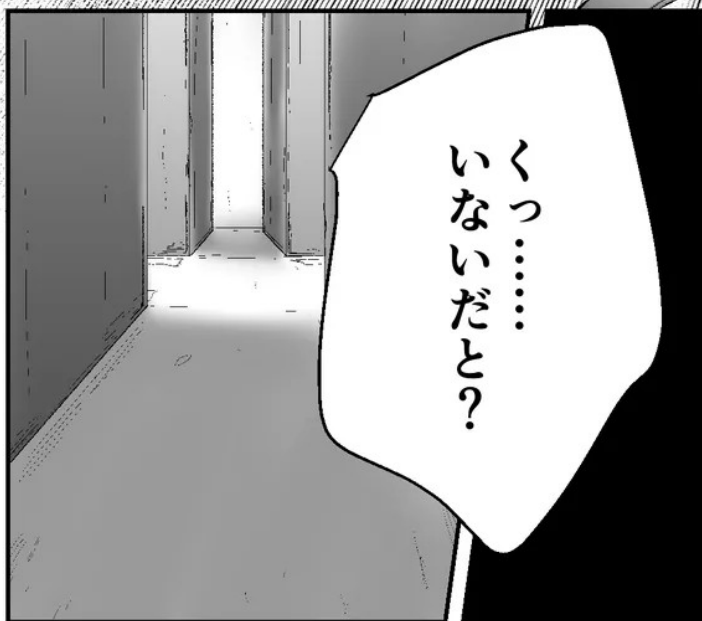
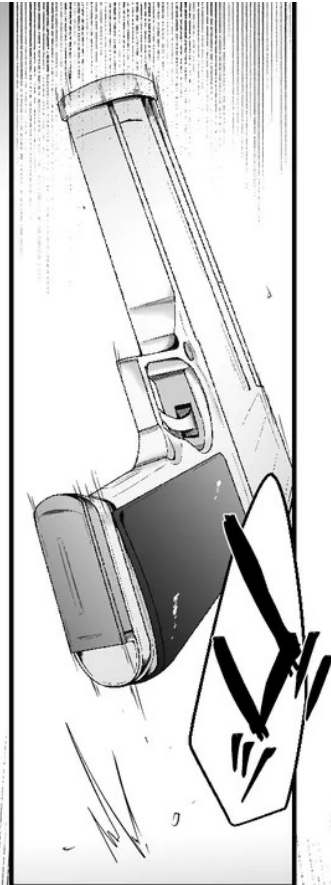
作戦行動を
開始する
——以上











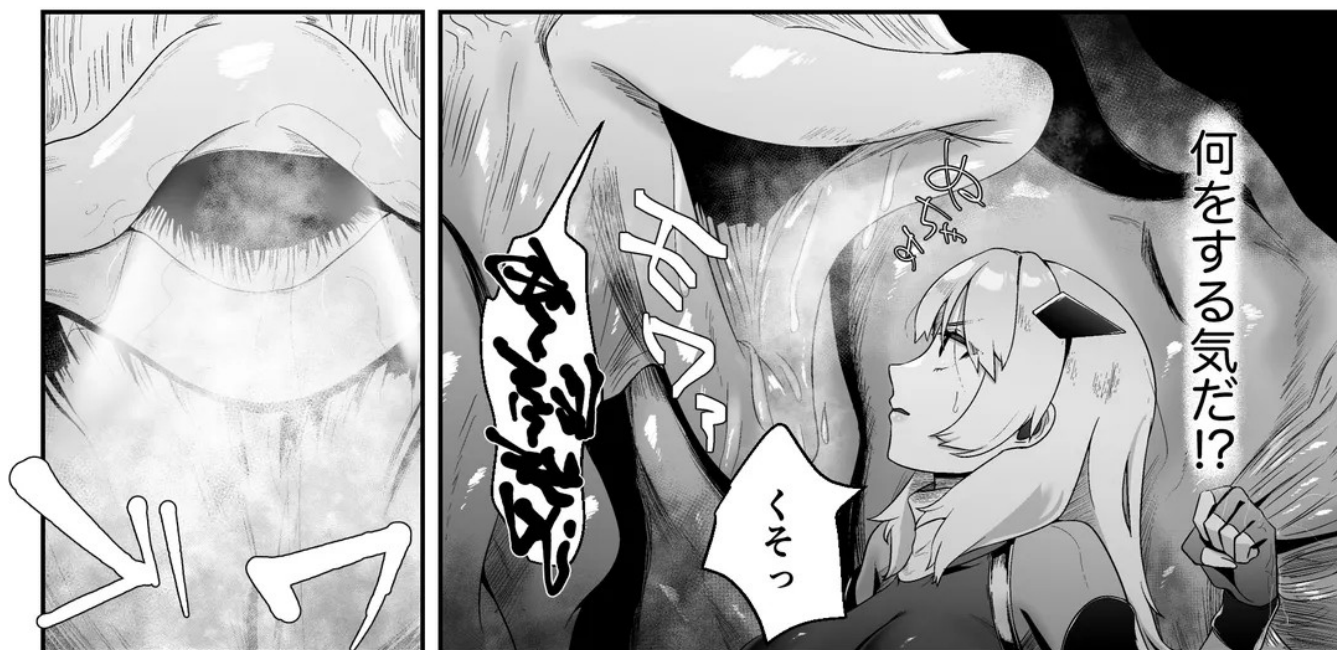




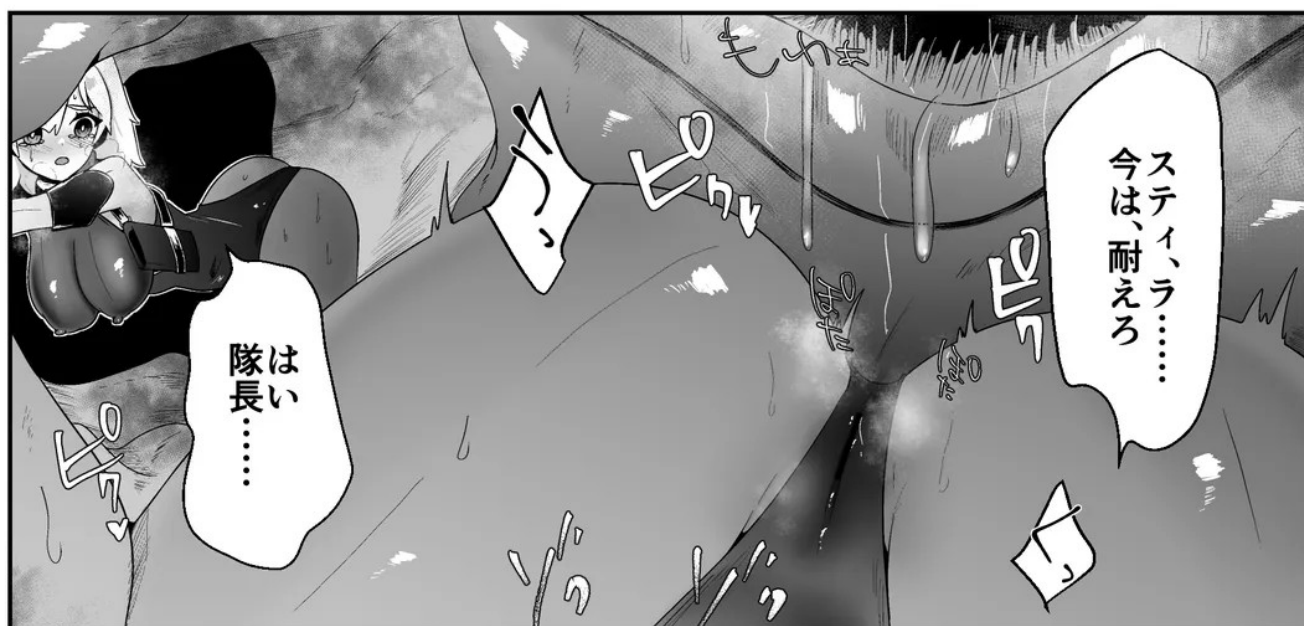
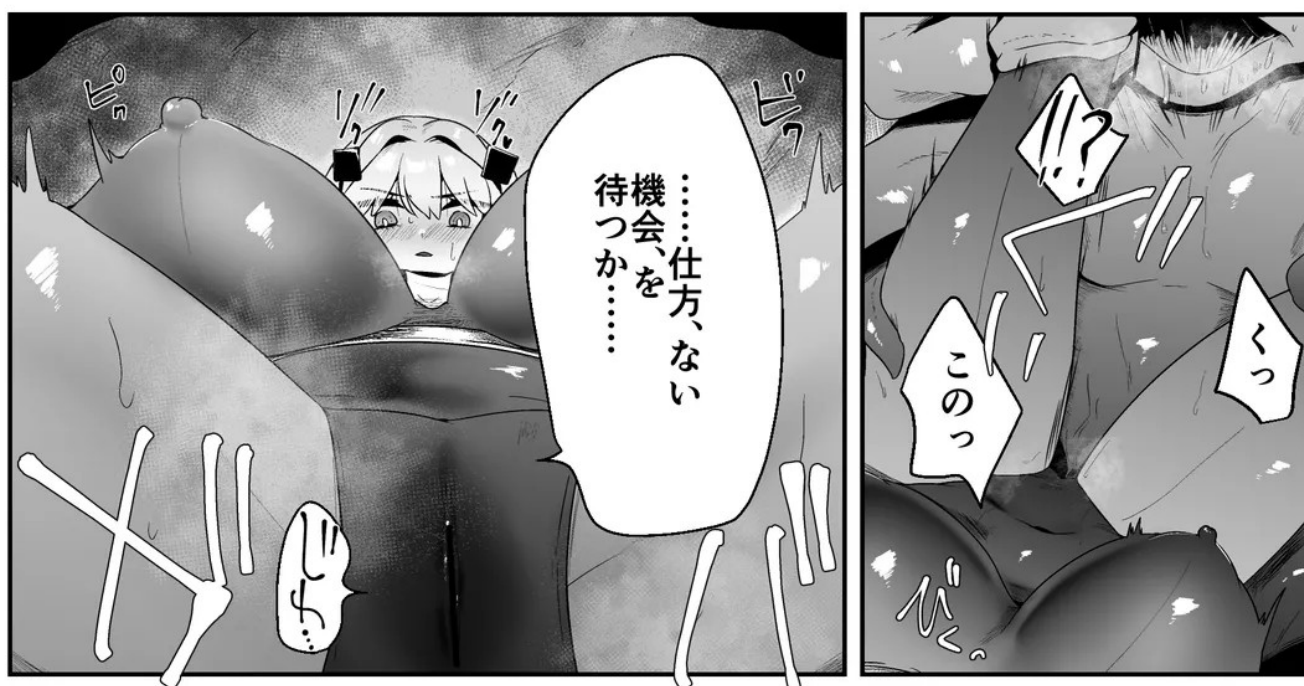


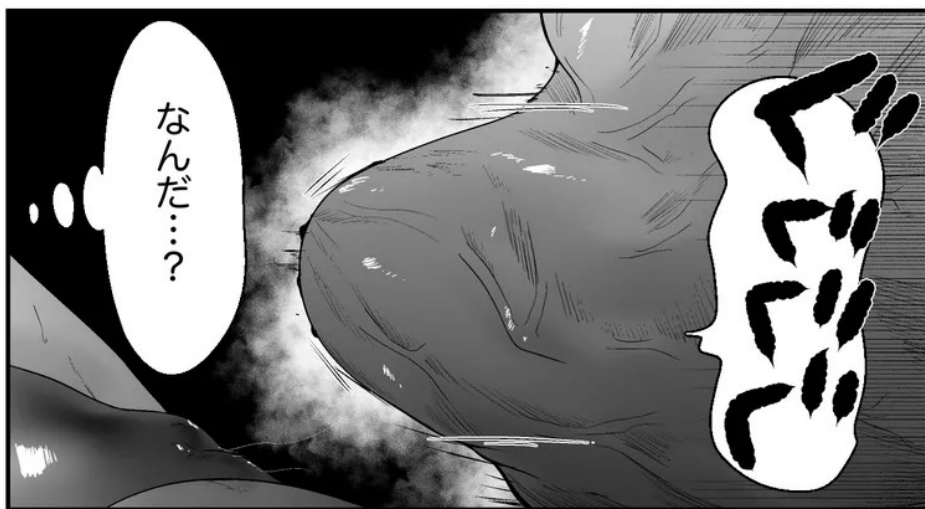


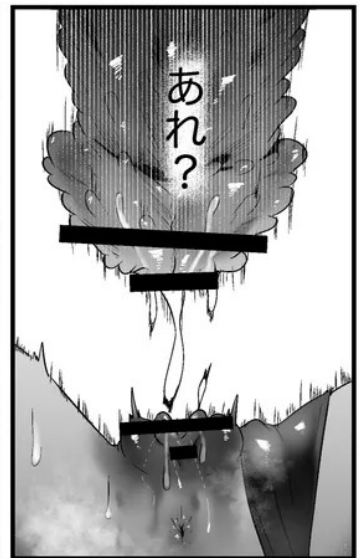
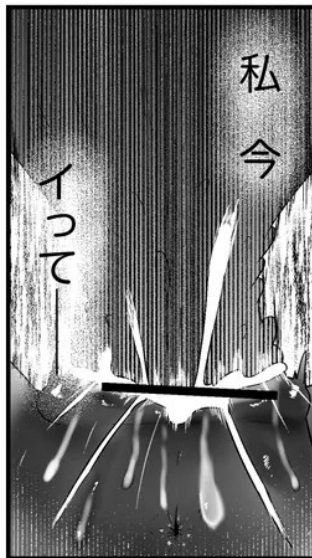
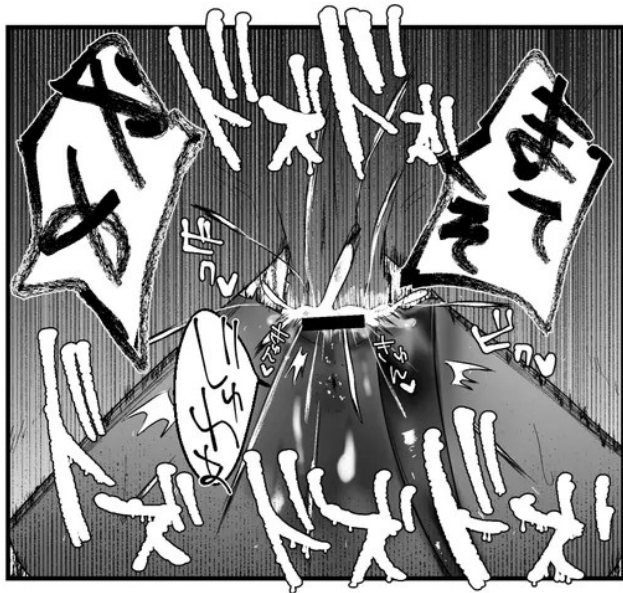


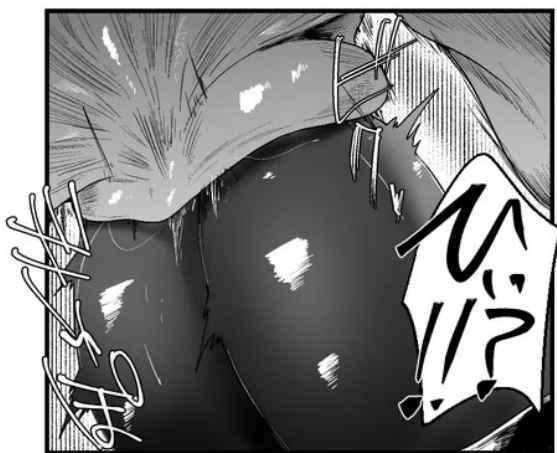


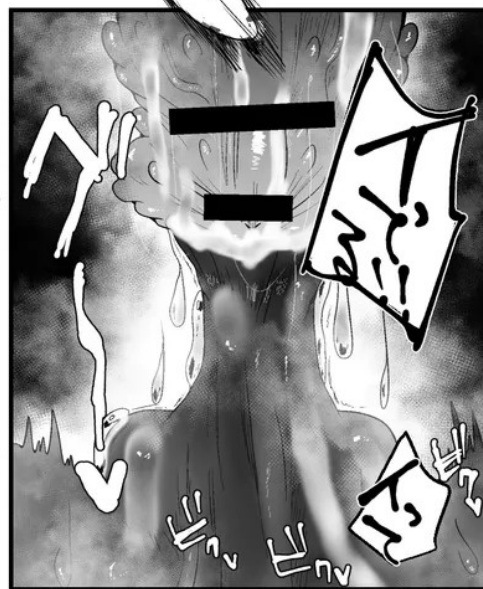
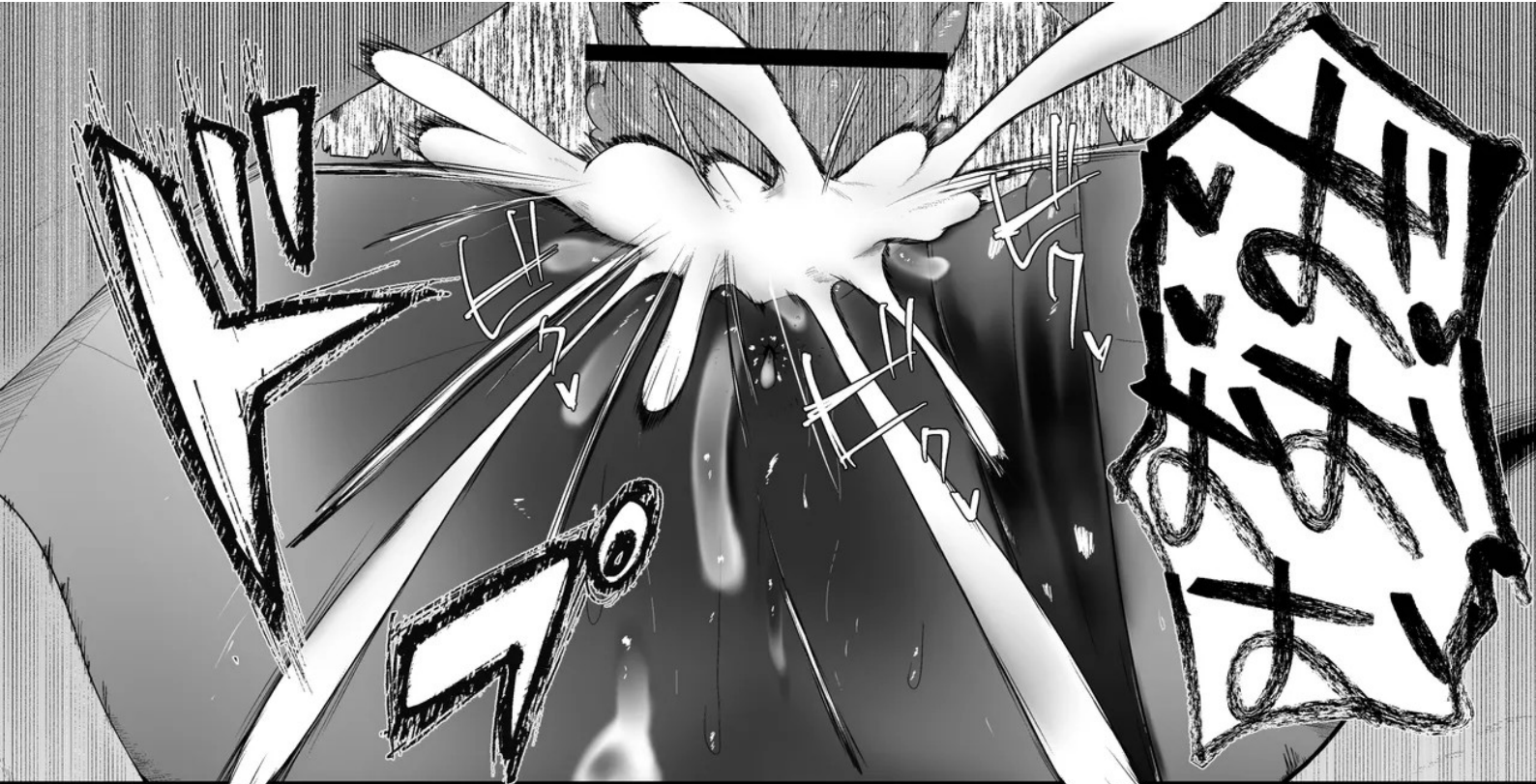




















はい襲撃時に隙をついて逃げたあと

侵入ルートに戻ったら既にハッチが例の肉で覆われていて……



しかし――

なんにせよ我々はいち早くこの船から脱出せねばならない

搬出口を含め船の出入り口はアレで塞がってる、と



私達の船とのアクセスも遮断されています

恐らく……妨害機器によるものかと……

……



袋のネズミか……

それどころかシステム側からもロックされているようなんです

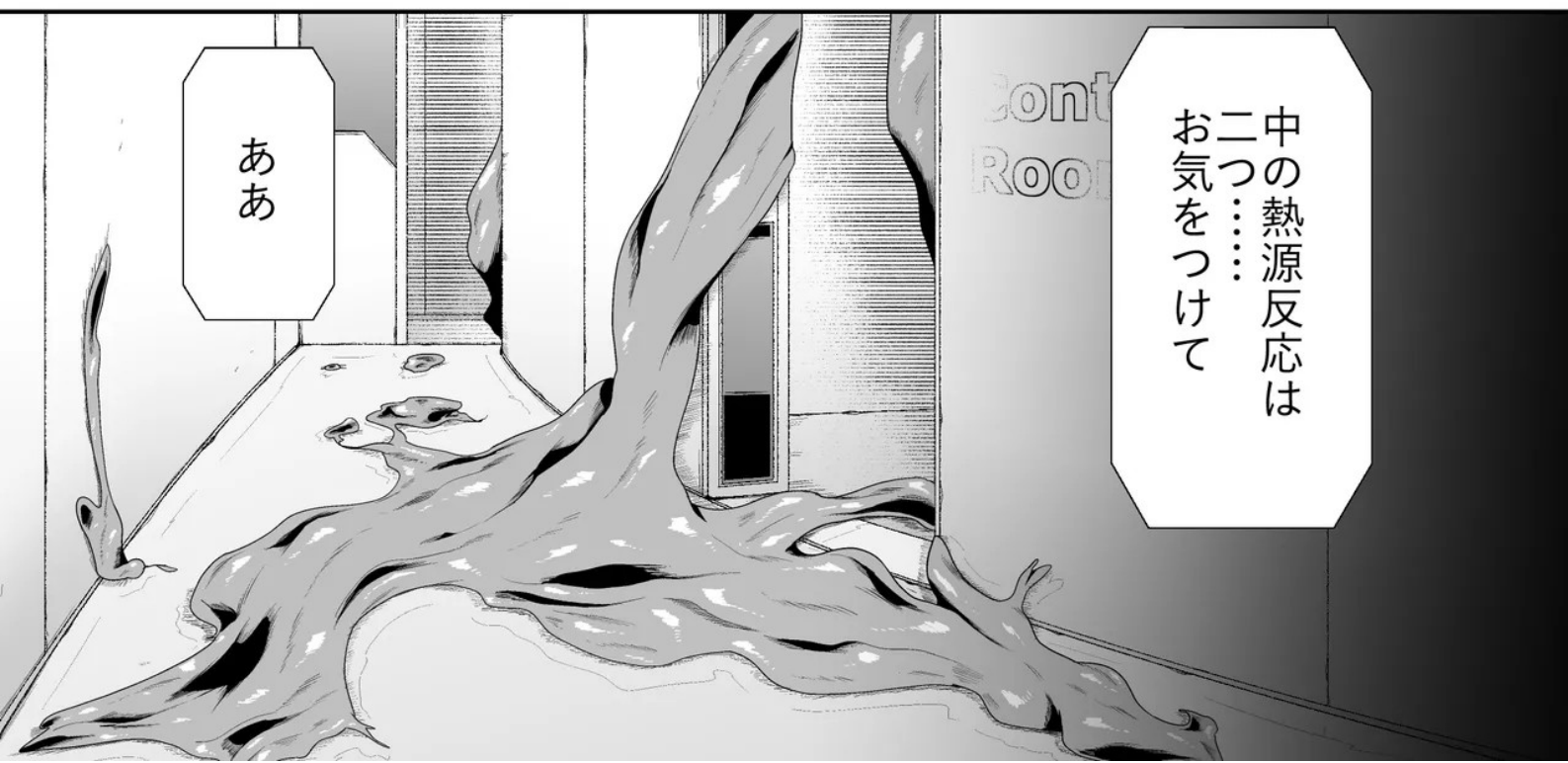
うげー



最初は未確認生物の巣に迷い込んだかと思っていたが

人為的かつ用意周到だな

ソシキ的
犯行ってヤツ！



私の身体は
二人と比べて
強固に造られている

先程のような目に
あっても私なら
まだ耐えられるだろう

……クソ
武器がサブしか
残っていないのは
痛いな……

だが

彼女達を守るためだ

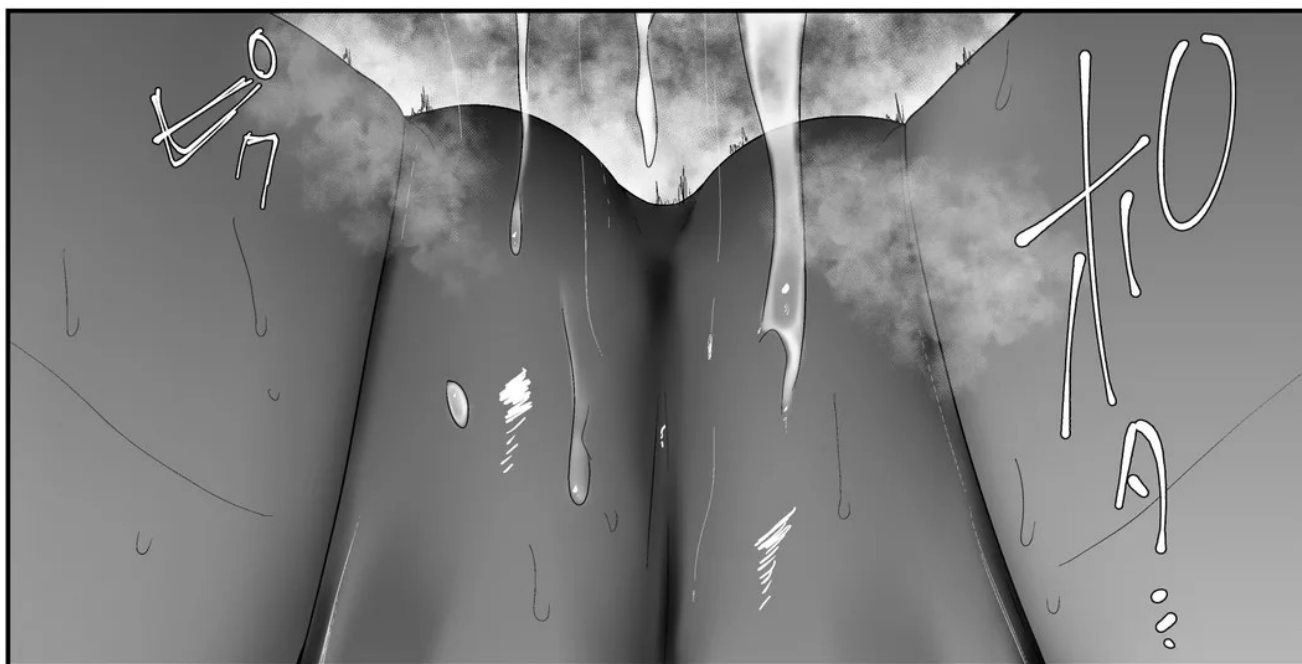


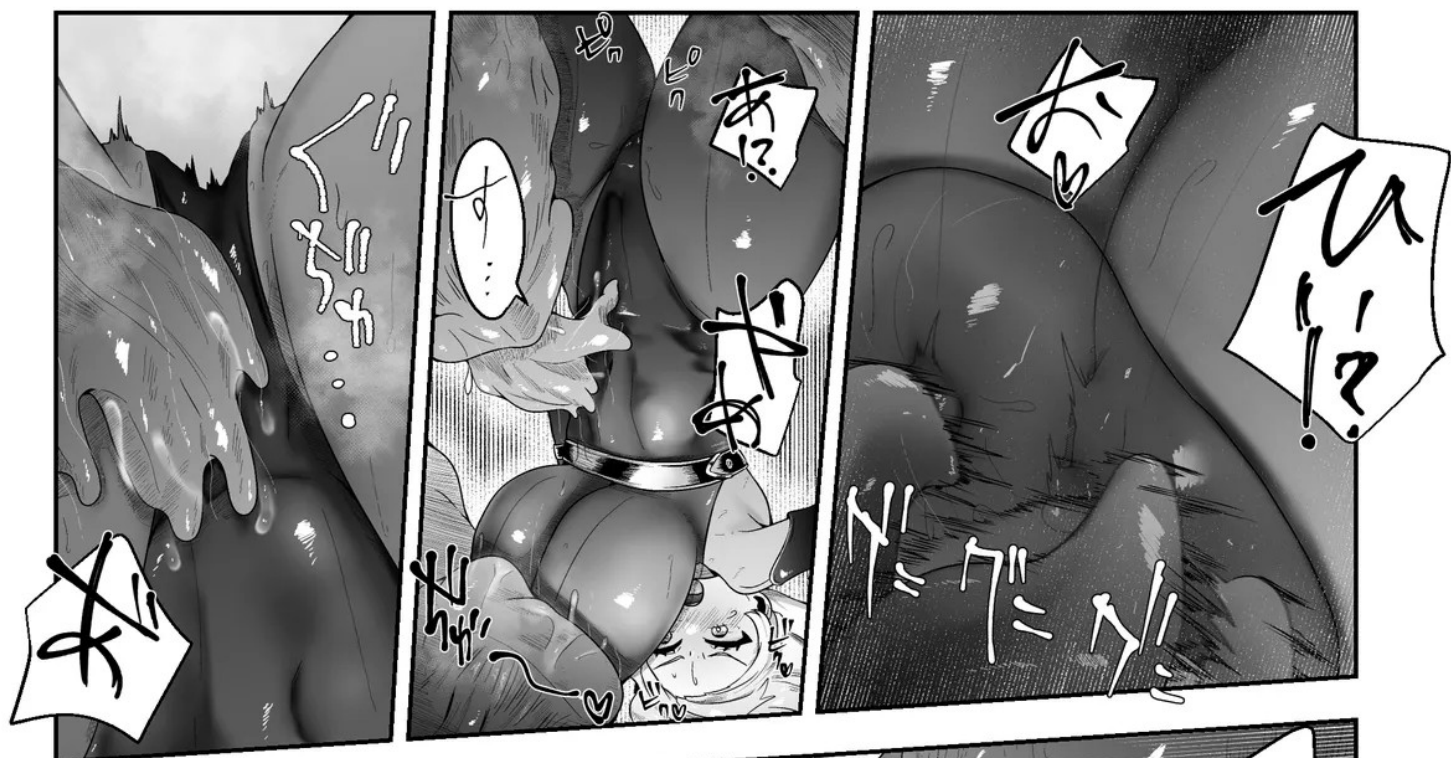


よけられな

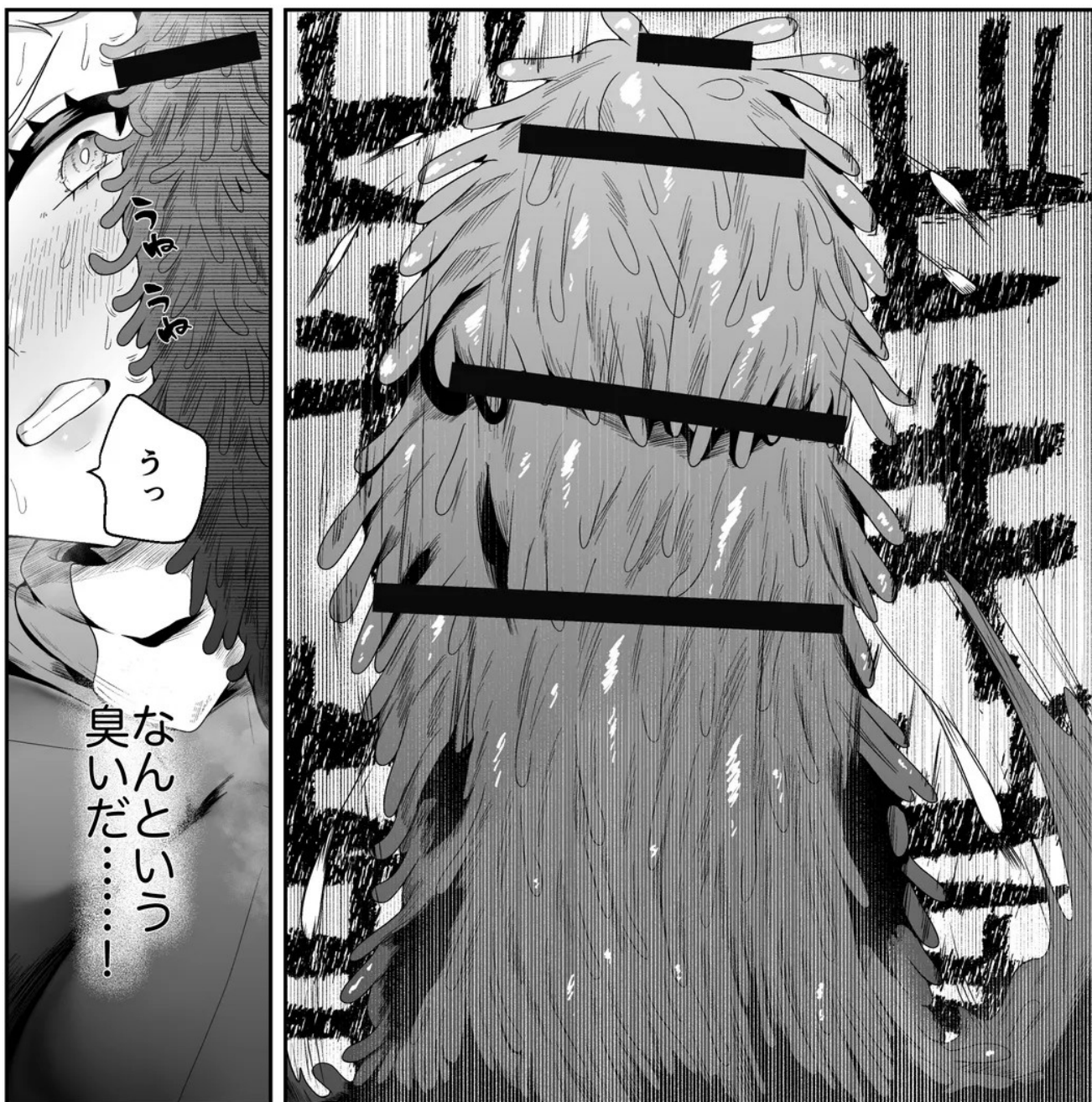
























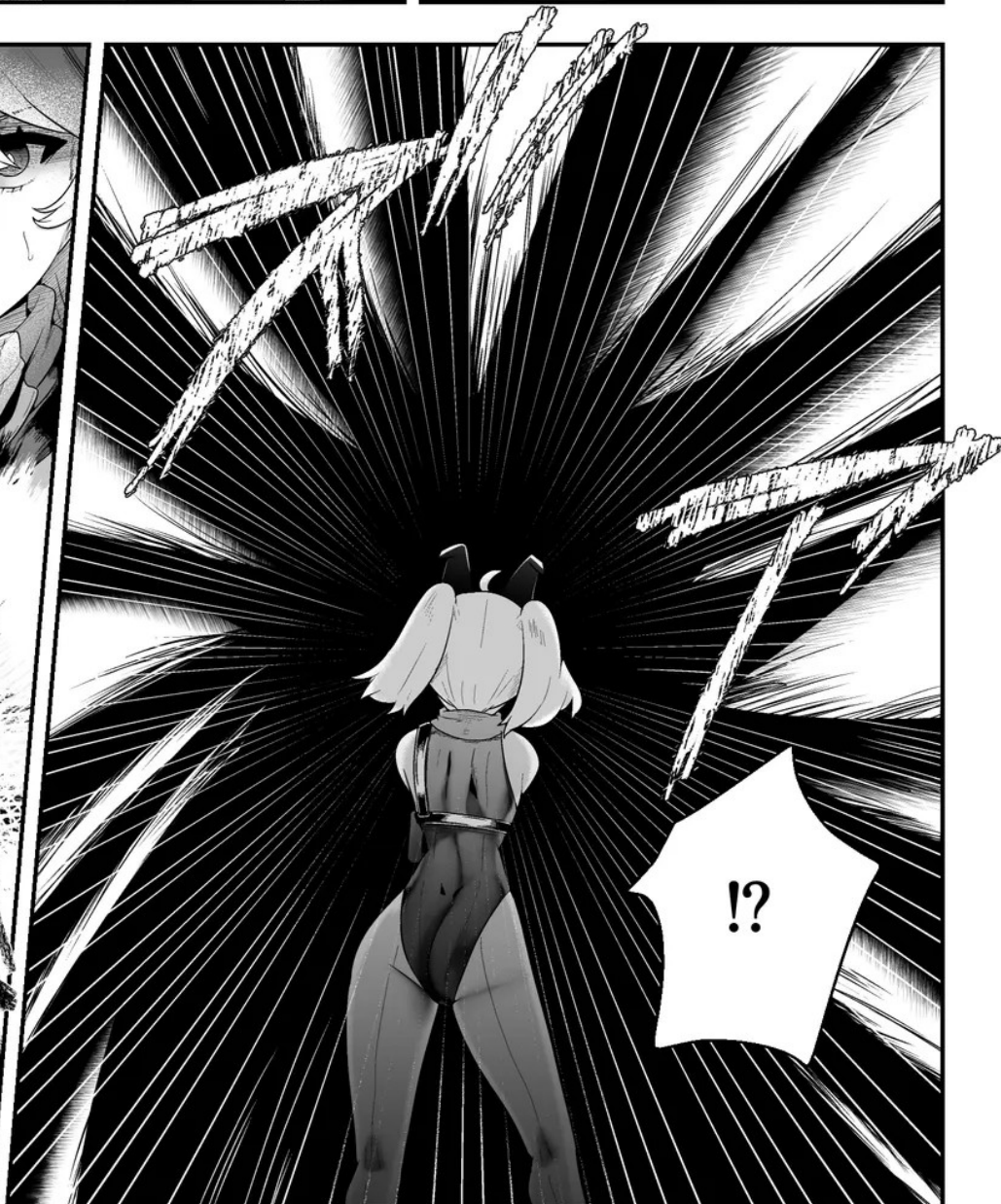
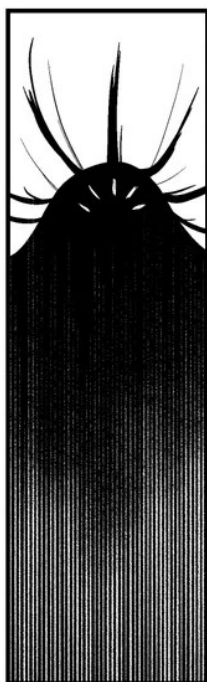
えっ

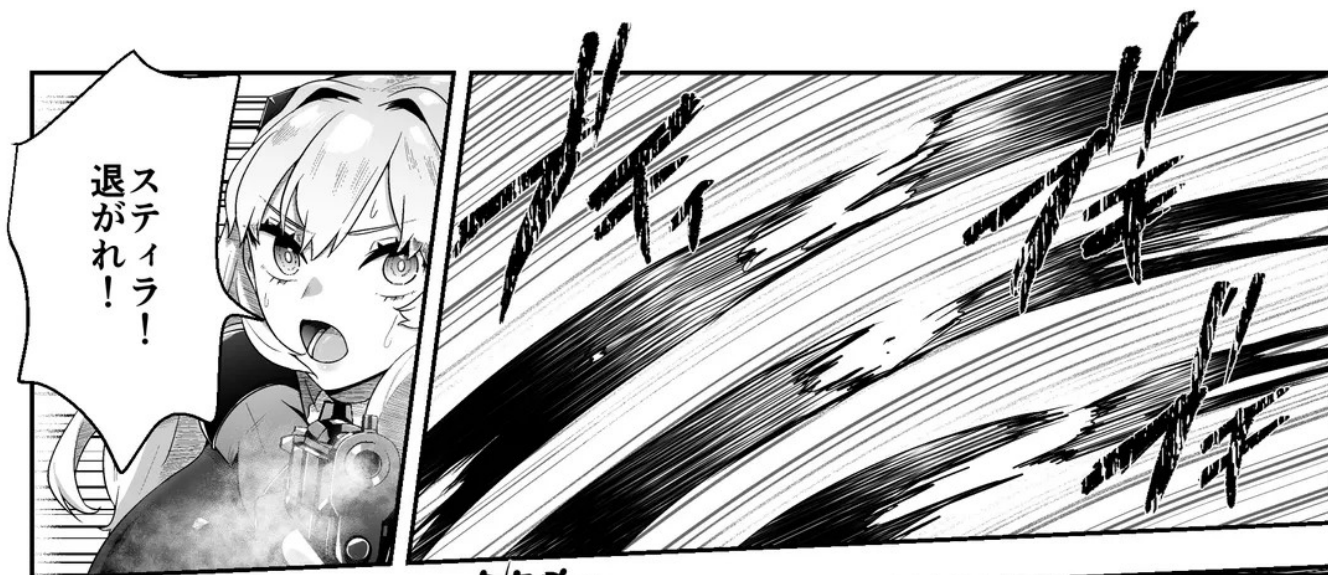


ひとまずこの船の
安全は確保された
ものかと思われ



ベルナ!?















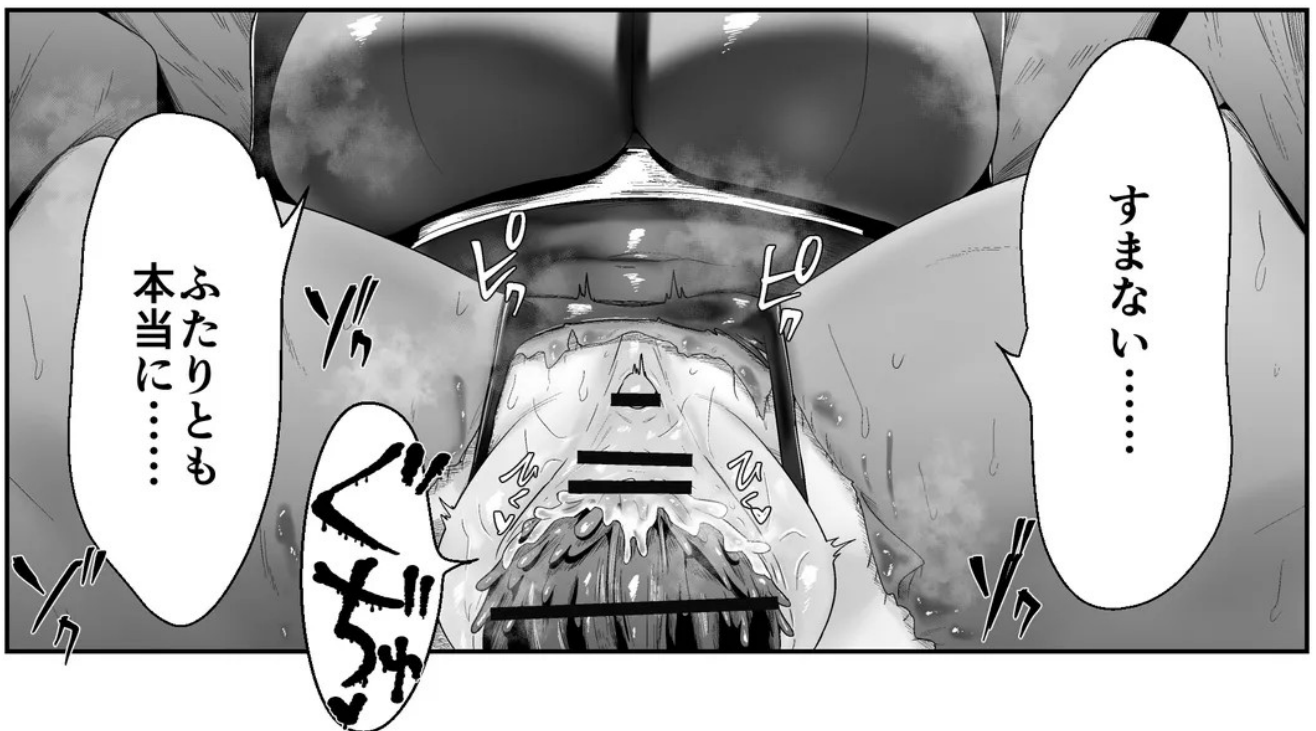


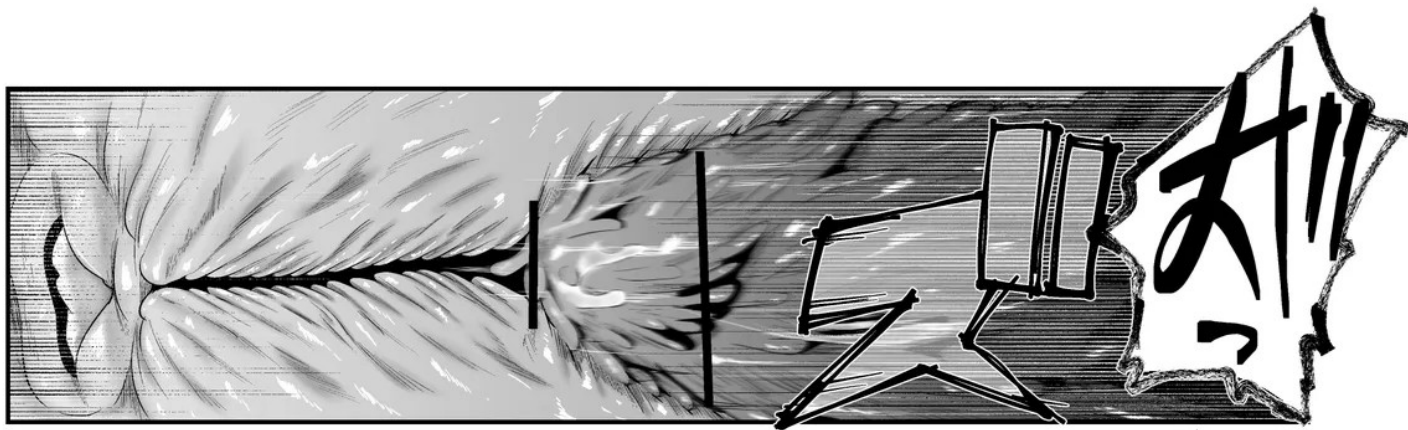










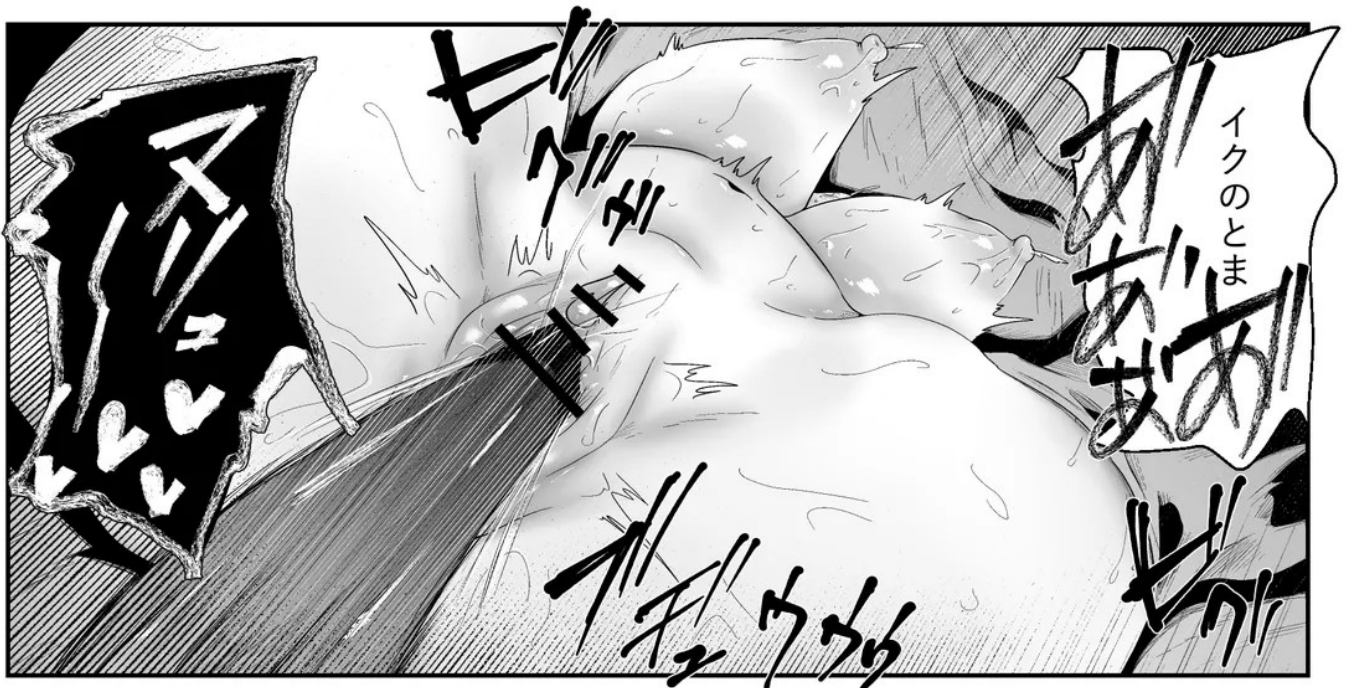












一日中
絶頂の繰り返しだ

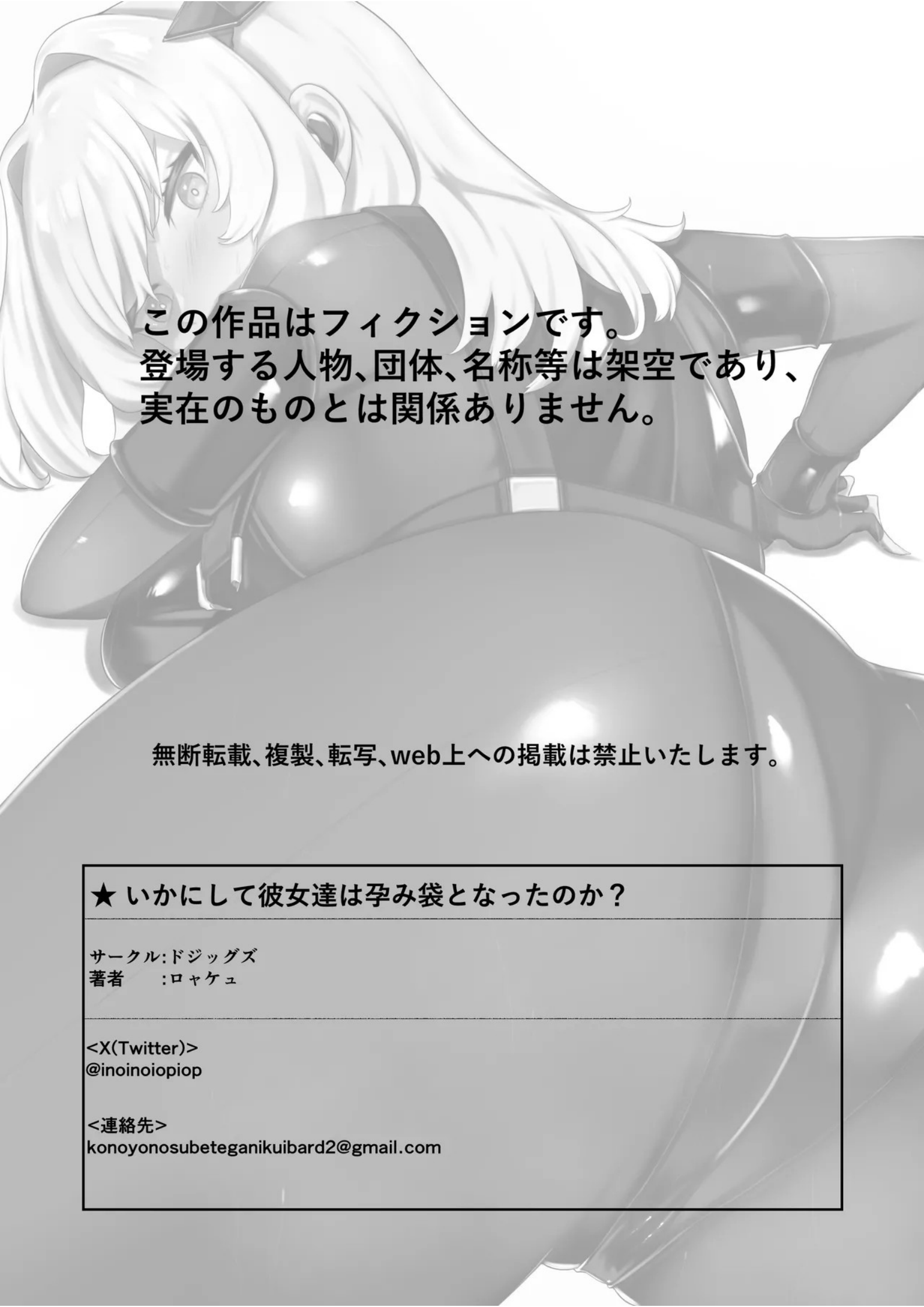
正直なところ
精神に異常を
きたし始めている

ステイラ隊員と
ベルナ隊員には
精神崩壊を防ぐ為
思考のロック措置を
命令した

外部から解除しない限り
意識が正常に戻る事は
ないだろう

——私もこの
記録が完了次第
実行する

一刻も早く
救助される事を
期待して……



この作品はフィクションです。
登場する人物、団体、名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。

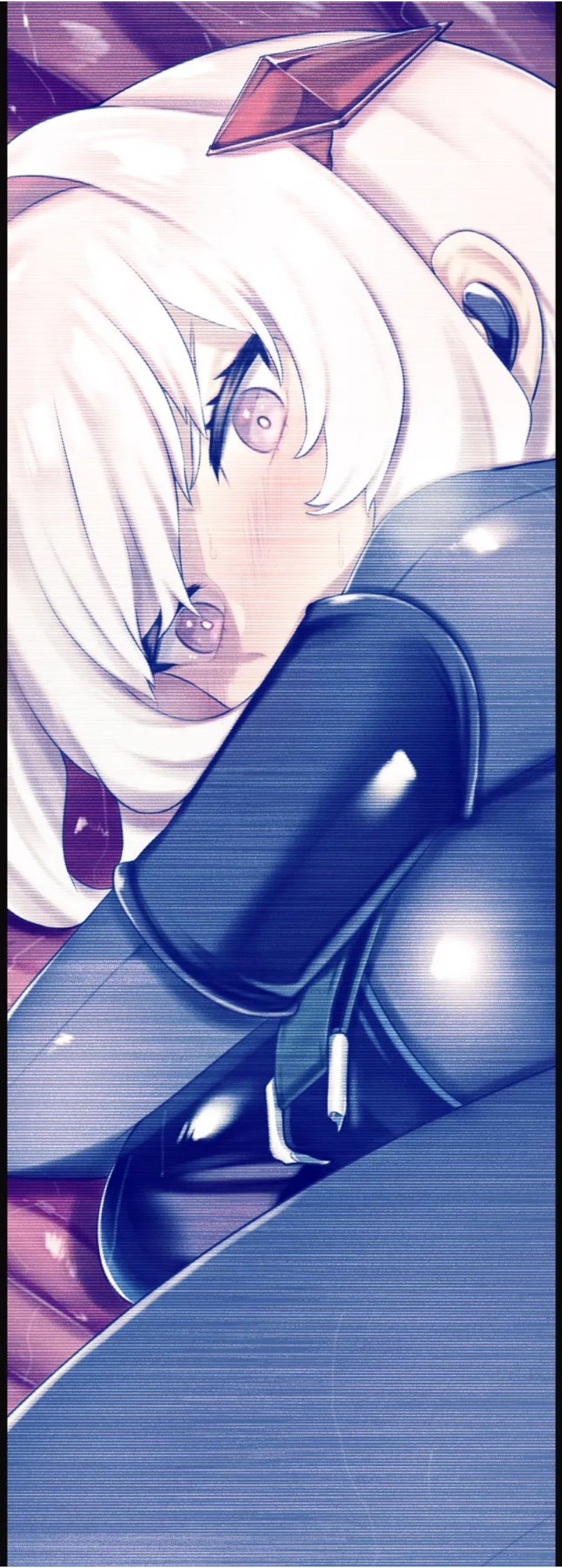
無断転載、複製、転写、web上への掲載は禁止いたします。

★ いかにして彼女達は孕み袋となったのか？

サークル:ドジグズ
著者 :ロヤケユ

<X(Twitter)>
@inoioiopiop

<連絡先>
konoyonosubeteganikuibard2@gmail.com



サークル: ドジグズ
著者: ロヤケユ